

nouvelle Fontaine

発行日 2026年1月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email:fontaine@sensyu.ne.jp

<https://jisen.jp>

24年の感謝を込めて

岸和田文化事業協会会長 齊藤 憲子

新年明けましておめでとうございます。

本年も皆様お元気で幸多き年となりますように心よりお祈り申し上げます。

さて、岸和田文化事業協会は当年3月をもちまして解散いたします。ご愛読いただきました情報誌ふぉんてーぬも本号をもち最終号となります。

1980年代、岸和田市に「岸和田市立文化会館」通称「マドカホール」を建設するに当たり、市民の皆様が「文化ホールの運営を考える会」という組織を作り上げ、行政と市民が協同して「岸和田の文化は市民の財産なのだから市民の手で守り育て創り出していこう」という機運がうまれました。これが「岸和田方式」と世に言われる形態です。岸和田市市民文化事業協会は、まさに行政と市民が協働した団体でした。しかしながら2002年に浪切ホールの建設で岸和田市文化財団が設立されると、それまでの文化活動が一変され、岸和田市市民文化事業協会は解散となりました。

それでも「岸和田の文化は市民の手で守り育て創り出す」という理念を手放さず引き継いだのが、現在の岸和田文化事業協会です。初代会長・伊藤伸史氏は「地域で芸術文化の振興をはかるということは、米や道路をつくるのと同じくらい重要な事だ」とふぉんてーぬ創刊号で力強く述べておられます。本当にその通りであると切に思います。

活動が続けてきた24年の間に行政との協同も形を変えました。また指定管理制度の導入や、経

済のバブル崩壊、デフレによる生活の疲弊、コロナ感染症による世界中の芸術活動の停止など、想像を超える事態が様々に出現してきました。失われた30年と言われるように、誰も彼もが生活のために就労し、心のゆとりを持つことが難しい時代が続いています。そんな中、携帯電話の発達により音楽や絵画はもちろん、あらゆる芸術・文化が手のひらサイズで見聞き出来き、見ず知らずの人に向けて感想や意見を発信できるような社会が現れると共に、足を運んでまで、或はお金を払ってまで出かけてゆく必要があるのかと考える人たちも登場するようになりました。

「生」の音を聞く、絵を見る、人と話すという経験を持たない人たちが、いつか多数派となるのか。このような時代の中で、沢山の人たちと語り合い笑い合い、自分たちの文化を創り上げることが再び叶うのか。過去への憧憬と、未来への懸念は尽きません。

残念ながら岸和田文化事業協会は、ここで今まで積み上げてきたものを手放します。けれど、この場所で各々の活動の中で、少しずつ新しく手に入れたものをこれからも携えながら、たとえ形態が変化したとしても人と人が「生」で繋がっていることを願います。

24年の長きにわたり、ご支援ご協力ご愛顧を賜った会員の皆様、市民の皆様、誠に有り難うございました。さらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



ありがとう! 岸和田文化事業協会

会長

齊藤 憲子

文化事業協会に入会をしてから、様々な文化に触れて来ました。好奇心を刺激されながら楽しい年月を過ごさせていただきました。協会が解散した後は、大好きになった音楽や歴史・地理の勉強を深めていきたいと考えています。そして気の合う仲間とフィールドワークに出掛け、足腰の老化予防と脳科学者の茂木健一郎氏が提唱する「アハ」体験の「なるほど!」や「へえ〜!」を増やして脳の老化を防ぎたいと思います。此が今後の目標です。

副会長

小島 恵

企画事業部会（展示・宣伝部門）

私は美しい音を奏でる事はできない。心の内なるものを造る事はできない。溢れる思いを描く事はできない。表現する術を持たない。そんな私だけど、あらゆる文化芸術の中に身を置くのが好き。娘たちと一緒に文化芸術に触れる時間を持つのが好き。

あら、私ができる事ひとつ見つけた! より多くの子どもたちが文化芸術に触れる場所を作る事。より多くの子どもたちが一方向だけでなくあらゆる方面に視点移して心を豊かにする時間を作る事。私はプロ

デュースする事ができるのです。

幸運な事に、同じ気持ちを持つ多くの人と出会いました。助けて助けられての楽しい時間を共有する仲間たちは、ここ岸和田文化事業協会です。たくさん出会えました。ありがとう。

これからも何かしらの機会を作っていきたい。私、ええ事できてるやんな。

副会長

角野 芳子

企画事業部会（舞台・宣伝部門）

私と岸和田文化事業協会の出会いは今から約30年以上前でまだ30代半ばだったように思います。理事に推薦していただいてからは、まっしぐらに地元で音楽を届けてきました。理事になった直後にはマドカホールでオーケストラをバックに歌わせていただいたヨハン＝シュトラウスの「春の声」子どもたちと一緒に作り上げたミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」「桃と赤鬼」などは、ひとしお懐かしい思い出です。

また昨年は三館合同事業「第九」の総括として当協会と一緒に成長させていただきました。

協会が無くなっても2年前に立ち上げた若手からシニアまでの音楽研究所「ミューズアカデミー」の代表として益々邁進していく所存です。

常務理事**池上 尚里****企画事業部会長（舞台・宣伝部門）**

日常と文化がうまく溶け込む欧米に比べ、日本では難しいと私自身感じていました。建築、美術、音楽そして人々との想いが一体となり肌で感じたい。自泉会館では、これらが全て交差しているように思います。文化が人々の心を豊かにし、豊かになった人々が、また新たな文化を生み出す。そんな文化の素敵な交わり場所として、自泉会館はこれからもあり続けて欲しいと願っています。

常務理事**大津谷 誠****広報部会長（SNS・宣伝部門）**

50代で他人が“くん”呼びしてくるのは、たいがい小中学校や高校の同級生です。

初めて岸和田文化事業協会総会に出席すると、女性が突然「おおつやくん」と呼んできた。「誰？」と。過去の記憶が廻った。まっとうにここまで来たはず。たぶん（笑）。

それは齊藤会長だった。小学校卒業以来の再会ということに。

協会に出会う方々は音楽に情熱を感じる人が多く、羨ましく尊敬するばかりです。

私の専門は技術系。趣味でホームページや動画撮影編集、あとは多くの映画鑑賞で聴く演奏。キーボードはパソコンで、タッチタイピングする程度です。

**常務理事****小末 もとえ****広報部会長（編集部門）**

「クラブ活動のつもりで・・・」と声をかけられ理事になったのは2017年。広報部会に所属し、2019年からは部会長を担当しました。普通のおばちゃんの私が務めてこられたのは、まわりで支えてくれた方たちのおかげです。

文章を書くのに悩んだこと。たくさんの人にとって話を聞いたこと。様々な場面で司会をさせていただいたこと。事業協会での経験は、どれもこれも大切な宝物として心の中に残っています。素晴らしい時間をありがとうございました。

常務理事**西念 秋夫****企画事業部会長（展示・宣伝部門）**

文化ホールの運営を考える会「等運営委員会」に一市民として関わったことがきっかけで、自泉会館を管理運営する岸和田文化事業協会に誘われ入会しました。協会の有意義な活動の中で展示部門に所属し、会長・副会長も務めました。

陶芸をしている関係から茶の歴史の講演会や展示・呈茶の企画事業「茶の歴史展」を、また「岸和田煉瓦にかかわる展示と講演会」「灯り展」など、様々な取り組みを行ってきました。大変良い機会を与えていただいたと思っています。



理事**坂東 重信****企画事業部会員（展示・宣伝部門）**

自泉会館とは長く、私の趣味である陶芸クラブの作品展及び私達の作品展を実施してきました。自泉会館の展示部門の理事をお願いされ、引き受けたのが協会との縁です。以後は展示部門及びクリスマスのワークショップの担当となり、いろんな仲間をお願いして各種のワークショップを実施。お客さんに喜んでもらう事、自身も又楽しい時間が過ごせるようにと頑張りました。そのおかげもあり、いろんな方面の方達と知り合い、今も大事にお付き合いさせていただいています。

自泉会館の各担当の皆様お疲れさまでした。ありがとうございました。

理事**加藤 くみ子****企画事業部会員（舞台・宣伝部門）**

岸和田市市民文化事業協会の時代に、後援をいただきバリアフリーをテーマにした芝居を上演したのが会員としての始まりでした。その後、名称変更の際の会議に参加し理事となり、10年目には岸和田市から感謝状を頂くという光栄な経験もしました。企画部長として取り組んだ「世界音楽旅」では、モンゴルゲルを製作・展示したことが特に印象に残っています。

長年の活動で多くを学び、協会がなくなるのは寂しいですが、歴史ある自泉会館はこれからも私の大切な場所です。

理事**佐々 由佳里****企画事業部会員（舞台・宣伝部門）**

岸和田文化事業協会では本当に長い間お世話になりました。ありがとうございました。

熱い情熱を持った各分野の方々と知り合うことができて、未知の世界を知りたくさんの刺激をいただきました。美しい響きの歴史的建造物・自泉会館では、事業協会のご協力もいただきながらソロ、室内楽のコンサートをはじめ、母 佐々雅子の染織展もさせていただ

き、宝物のような思い出がいっぱいです。

心からの感謝の気持ちと共に、これからもたくさんの方々の思いを大切に引き継いで行きたいと思います。

理事**白原 理香****企画事業部会員（舞台・宣伝部門）**

5年前にご縁をいただき、文化事業協会の一員となりました。

これまで若い方々の演奏の場にスタッフとして関わり、また準備の会議にも参加することで舞台を支える立場から多くを学ぶことができました。さらにピアノ五重奏を演奏させていただく機会があり、演奏者としても貴重な体験ができました。

協会の活動を通して得た出会いや経験は、私にとって大切な財産となっています。

理事**セルバンテス 堺 多恵****企画事業部会員（舞台・宣伝部門）**

母からバトンを受け、気がつけば長い年月、協会の一員として過ごしてきました。

クリスマスの音楽劇や文化の日の祭典、若手を応援するオーディション…そのほかにも、たくさんの行事や企画に皆さんと力を合わせて取り組みました。

どの場面も、人の温かさや文化の力を感じる大切な時間でした。ご一緒できた日々にご縁に心より感謝いたします。



理事**反 甫 進**

企画事業部会員（舞台・宣伝部門）

私は令和5年度から企画(舞台)事業部会理事として参加させていただきました。

まず記憶に残るのは、令和5年10月7日に宮崎剛先生のピアノコンサートを開催出来た事です。全く素人の私が主催で開催し、宮崎先生の協力を得て観客も集り成功する事が出来ました。

それとなんと云っても私の中で一番大きな収穫は、角野芳子先生に出会えた事です。今は先生が主催されているコーラス「シフォン」の団長をさせてもらっています。先生の色んな企画に参加させていただき充実した日々を送っています。

理事**寺 本 郁 子**

企画事業部会員（舞台・宣伝部門）

小学生の時、岸和田市少年少女合唱団に入団し、その時お世話になった市職員の方から大学で音楽の道に進んだ私に岸和田文化事業協会への入会を勧められ、協会会員となり活動に参加させていただきました。自泉会館ではリサイタルの機会や、マドカホール・浪切ホールでは関西のオーケストラとの共演で貴重な経験もさせていただき、研鑽を積むことができました。兵庫県に仕事の拠点を置いてからは、中々会議や事業にも出席できず理事の皆様にもご迷惑をおかけしてまして、申し訳なく思っております。長年にわたり市民参加の文化・芸術に寄与され活動されてきた協会に心よりの感謝を申し上げます。今後また新たな形で活動の再開が出来ます事を心より祈っております。

**理事****中 村 八 千 代**

企画事業部会員（舞台・宣伝部門）

岸和田文化事業協会とのご縁は、当財団の専務理事で岸和田市出身の寺本郁子さんが岸和田文化事業協会に入会して、私も事務局へご挨拶に伺い当財団の活動等をお話させていただいた事からでした。その後、当財団が海外からの一流アーティストや合唱団を招聘して、ソプラノ歌手の寺本さんや当財団のオーケストラ、合唱団と共演してコンサートをする際に、岸和田市でもコンサートを作って下さり何度も演奏の機会を頂きました。岸和田文化事業協会へも何かご恩返しにお手伝いできる事があればと、私も理事になって入会いたしました。

長きに渡り岸和田市の文化活動に貢献されて来られた協会に敬意と感謝を申し上げます。これからは違ったかたちになるかと思いますが、今後も岸和田市の文化活動を支えていかれます事を祈念しています。

理事**藤 間 勘 史 卯**

企画事業部会員（舞台・宣伝部門）

事業協会との関わりは何と言っても平成11年、私が照手姫と深泥ヶ池の大蛇の化身を演った詩劇「まぼろしの小栗街道」にあります。市から予算が下り市民オーディション参加による日本舞踊・混声合唱・文楽人形・バレエ等により創り上げられ「説教小栗」を基に書きあげられた蘇りの物語であり「小栗とは誰の事」「小栗街道ってどんな道」を改めて問いかける内容の詩劇でした。

私の投じた一石が大きな波紋となり広がり、その立ち上げた受け皿となり支えてくれたのが、当時生田さんを事務局長とする岸和田市市民文化事業協会でした。岸和田の文化発展育成の為、多くの先人たちのご努力・忍耐があればこそ今日までだったと思います。真にこれからの岸和田の文化を真剣に考えていただける方々の今後のご活躍を願っております。



理事**山村 若代紀**

企画事業部会員（舞台・宣伝部門）

協会とのご縁は、大文連で上方舞の山村若佐紀師と松本則子元会長とのご縁で、師匠命令でした。趣味で細々習う身には恐れ多く、岸和田で教えていた市外在住の妹弟子にかわってもらった方が等、何度もお願いしましたがお許しが出ずズルズルと今に至ります。

新春邦楽枠の地歌箏曲演奏会で1曲舞を添えさせて頂けたのは、自身には初のプロの地方付きの舞台で贅沢な経験でした。乙女文楽と長唄、茶道イベント、杉江能楽堂の能、情報誌、音楽世界旅も視野が広がり、演劇や音楽の先生方の企画・行動力に圧倒されました。貴重な体験をどうもありがとうございました。

理事**小木曾 由季**

広報部会員（編集部門）

大人になってからの友達はできにくい。と言われますが、岸和田文化事業協会の理事として活動していた中で、音楽や踊り、舞台などにかかわられたたくさんの方々と知り合い、お付き合いさせていただくことができ、とても充実した月日でした。

そして、市内にある7社の神社や公民館活動されている団体に取材させていただいたことも、いい経験でした。市内に長年住んでいても知らないことが多く、目からうろこのことも。

文化事業協会はなくなってしまうますが、各所で理事の方々の活躍を楽しみにしたいと思います。

理事**黒木 幸子**

広報部会員（編集部門）・事務局員

思い起こせば…いつから私は協会にかかわってきたのだろう。普通の主婦の私が岸和田おやこ劇場の事務局長になり、それにはもれなく協会理事が付いてきました。文化人や芸術家に紛れ理事会の席に座っている私。今でも思い出すと冷や汗が出ます。

その後、企画事業部会長を経験し事務局のお手伝いに入り、そして現在は準職員。あれよあれよの27年でした。特に最後の8年は会員の皆様に支えてもらい、他の事務局員と共にどうにか乗り切ることができたと感謝しております。大変なこともありましたが、楽しいが優に勝る貴重な時間を頂きました。

理事**松浪 心込**

広報部会員（SNS・宣伝部門）

かつて私は、泉の森ホールでの市民ミュージカルにて、市民スタッフを務めていました。その時に主役を務めた女の子が成長してオペラ歌手になり、第3回フレッシュプレミアムコンサートに出演することとなりました。そして、それを観に来たのが岸和田文化事業協会との出会いでした。その後、理事を拝命し、数々の事業に携わっていく中で得られたキャリアは、私にとって貴重な財産となりました。時流の波の中で当協会は解散することとなりましたが、身に付けた文化振興のスピリッツを今後も忘れることなく、歩んでいきたいと思っています。



およそ「文化」と言う二文字には遠いところにいた私でしたが、先輩からのお誘いを受けて事業協会に入会してから10年余り。情報誌「ふぉんてーぬ」の発行に関わらせていただく事で岸和田の歴史や文化に触れる機会に恵まれ、地域の様々な行事や多くの方々との交流を深める事ができました。解散なんて何とも残念でありませんが、今後は若い方々が多様な方法で岸和田の文化を守り、発信してくださると信じております。

長きにわたりご尽力くださった皆様方、そして多くの出会いに心より感謝申し上げます。

思えば文化事業協会には随分長く関わらせていただきました。勤め人の間は、ただただ気楽に楽しませてもらっていました。退職後、いつの間にか何の特技も持たないのに理事に仲間入りさせていただき、少しずつ関わりが深くなりました。特に印象深いのは、広報部会に所属して「ふぉんてーぬ」の編集に携わったことです。仕上げるのに四苦八苦した号、楽しく進んだ時など、ほんとうに貴重な思い出です。何にも増して部会の楽しさ。底抜けに明るく遠慮なく議論し合ったことです。又、文化団体の広報担当という名刺のおかげで、たくさんの方にお会いし、お話したり原稿を頂いたり出来たのは得難い体験で、文化事業協会に所属していたからこそと改めて素晴らしさ、ありがたさを噛みしめています。



文化事業協会の事務局員として働かせていただきました。当時事務局歴40年と自負し就職しましたが指定管理者制度というものが理解できず、四苦八苦いたしました。自分の無鉄砲さに反省しております。関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしたと思います。お詫び申し上げます。

しかし元来の負けず嫌い、旺盛な好奇心で、わからない事はどんどん人に訊ねて教えていただき何とか今日までできました。感謝♥感謝♥

文化事業協会の閉会にかかる事務作業を最後まで引き締めてまいります。8年間有難うございました。

文化事業協会のパート事務員に採用され、週1が週2週3となり約7年お世話になりました。今までの事務職と違い、文化、芸術と経験のないお仕事に携わり覚える事が多々あり、楽しく勤めさせていただき感謝しております。また自泉会館のホールで、フラ仲間たちとダンス発表の場も経験することができました。本当にありがとうございました。

残り時間を大切に、皆さんのお役に立てるよう勤務したいと思います。



協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

研修旅行～ホフマン窯 岸和田煉瓦のルーツを探る～

日 時:令和7年10月13日(月・祝)
行 先:滋賀県近江八幡市
参加者数:40人



〈皆さんの声〉

- ◆一般では見学できないホフマン窯の中を見ることができ、ドキドキワクワクしました。
- ◆ラコリーナが広すぎて、もっと時間がほしかった。
- ◆山岡さんによるホフマン窯の説明を聞くことができたので仕掛け等がよくわかりました。

第80回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和7年10月17日(金)
午後6時30分開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:64人



〈皆さんの声〉

- ◆想像していたコンサートを遙かに超える迫力に、心が喜びでいっぱいです。
- ◆時間を忘れるほど楽しい時を過ごせました。
- ◆未来が明るく見えました。フレッシュコンサートは続けてほしいです。

室内楽の午後 ～四つの音色、ひとつの心～

日 時:令和7年10月26日(日)
午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:42人



〈皆さんの声〉

- ◆演奏者の皆さんが、息を合わせてタイミングを決めたり合間にコンタクトが見られたり、サブタイトルの通り心が一つになっているのを感じられました。
- ◆弦楽器の演奏をこのような近くで聴くのは初めてでしたが、空間の重厚な響きや超絶技巧が楽しかったです。
- ◆会場の雰囲気が素晴らしい。

文化の日祝典記念事業 ハーモニーで彩る文化の日 ～女声コーラスアンサンブル～

日 時:令和7年11月3日(月・祝)
午後1時30分開演
会 場:岸和田製鋼マドカホール
入場者数:195人



〈皆さんの声〉

- ◆女声アカペラの魅力を最大限に引き出され、美しい曲に仕上げられていたことに感動しました。
- ◆素敵な歌声に心が浄化されました。
- ◆昭和歌謡を聴くと、若かりし頃の自分、元気だった頃の亡き父母のことを思い出し涙が出てきました。

ヨハン・シュトラウス2世 生誕200周年記念企画 マリア小路里美ピアノコンサート

日 時:令和7年11月24日(月・祝)
午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:31人



〈皆さんの声〉

- ◆自泉会館の雰囲気がシュトラウスの音楽とマッチして、時代を超えてとても楽しく聴かせていただきました。
- ◆力強い音と、装飾音が素晴らしいです。
- ◆高潔で凛とした音色に心うたれました。

サンタから歌の贈りもの

日 時:令和7年12月20日(土)
午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:29人



〈皆さんの声〉

- ◆素敵な音楽のクリスマスプレゼントをありがとうございました。
- ◆クリスマスの曲にとっても似合っている会場でした。
- ◆ポピュラーな曲が多く、クリスマスにふさわしいイベントでした。

第9回自泉クリスマス会 手作りワークショップ

日 時:令和7年12月20日(土)
12月21日(日)
午前10時～午後4時
会 場:岸和田市立自泉会館展示室
入場者数:85人



〈皆さんの声〉

- ◆普段できないことを経験できて楽しかったです。
- ◆1つだけ作品を作る予定でしたが、他を見ていくと全部したくなり2つ作ってしまいました。
- ◆参加者が少ないのが残念ですが、知らない方ともお話ししながら楽しい時間を過ごしました。



自泉ジュニア・フレッシュ プレミアムコンサート

日 時:令和7年12月21日(日)
午後3時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:48人



〈皆さんの声〉

最優秀賞:馬 潮 優秀賞:千田 陶子

- ◆皆さんの演奏が素晴らしいので涙が出てきました。
- ◆まだお若い方たちですが、これからがとても楽しみです。
- ◆若い人たちの演奏の場であるジュニアやフレッシュのコンサートを今後も続けてほしいです。

nouvelle
Fontaine

vol.89

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2026年1月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小末もとえ・小木曾由季・黒木幸子
協力 近江和代・本郷元子

編集後記...

ふぉんてーぬ最終号をお届けします。無事発行できた安堵と寂しさ感謝の思いでいっぱいです。これからは岸和田市で育まれてきた文化が、さらに大きく花開いていきますようにと願い見守っていきたいと思います。取材や寄稿でお世話になった皆様、お読みいただいた皆様、本当にありがとうございました。(広報部員一同)

<https://jisen.jp>



岸和田文化事業協会

検索

